

新技術・新工法

登録番号	20036	
新技術名	バスク工法wide	
副題	特殊樹脂モルタルによる既設モルタル面の保護工法	
従来技術名	剥ぎ取り+モルタル再吹付	
活用区分	—	
新技術等の区分	工法	
新技術等の分野	工程、経済性、安全性、施工性、環境、県産資材活用	
NETIS番号	QS-180015-A	
問い合わせ先	株式会社マテリオリペア 096-234-8823	

概要	<ul style="list-style-type: none"> 特殊樹脂モルタルによる法面のモルタルやコンクリートの表面保護を行う。さらに本材料に最適化された小型専用機により混練、圧送、吹付までの広範囲な一連の施工が可能で、材料品質、施工効率、安全性、経済性の向上が期待できる。
特徴	<ul style="list-style-type: none"> バスク(特殊樹脂モルタル)を用いて、既設モルタル面等の老朽化、劣化に対し、全面を被覆し、保護・延命を図る。 小型専用機械施工を可能としたことにより、安定した材料の供給ができ、広範囲に吹付保護が可能となる。 全面を被覆することで、劣化原因となる水の浸入等を防止できる。 既設モルタル面の剥ぎ取りを伴わないため、産業廃棄物の発生を抑制でき、経済性の向上が期待できる。 従来の吹付ガンに比べ、小型専用吹付機械の使用のため、作業効率が向上し、安全性が高まるとともに、第三者、通行車両への影響や危険性を軽減出来る。 専用機械の使用により、さらなる工期の短縮とともに、経済性が向上出来る。
適用可能な箇所	<ul style="list-style-type: none"> 老朽化した既設モルタル、コンクリート面 ひび割れ幅1.0mm以上 吹付厚2.0mm以上 直高50m、延長50m <p>※雨水・湧水がある場合には、事前処理を行い施工すること。</p>
施工単位等	<p>新技術 7,760円/m² (1000m²当たり)</p> <p>従来技術 17,313円/m² (1000m²当たり)</p>